

自ら掴む経営エッセンス!

(記事: 渡部成夫 過去記事も読めます⇒<http://idoina.com>)

6/10(火)

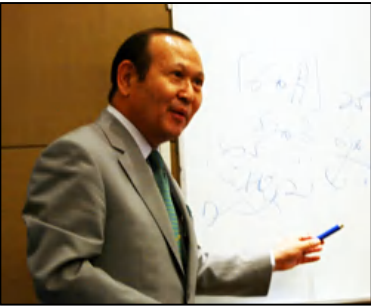
テーマ: 『成功の条件』

出席35社37名

(美浜27、他会10、非会員0)

講師: 館山市倫理法人会 丸 淳一 相談役

無一文から創業組日本一。売上50億も射程距離に入った!



Junichi Maru

2日間100名の参加者に、夢とやる気が降り注ぐ! 周囲を明るく照らす丸淳一氏。

34歳で銀行員を辞め、38歳までの4年間、赤字企業数社を次々と黒字転換させてきた。「業績が上がれば給料も上がる。何が何でもやる」と、自費での接待も厭わず、徹底して働いた成果だ。だが、待っていたのは、突然のクビだった。勤めたくはない。が、独立の金もない。無一文だった。

だが、丸氏の4年間の努力は、無駄ではなかった。丸氏を知る人たちから、3000万円の支援。ここから丸氏の成功物語が始まった。売上の推移は上図の通り。創業組で日本一、三兆円市場の葬儀業界ではもちろん、ダントツのトップとなる。

一体、丸氏は何をしたのか。成功の条件とは…

やれば誰でも成功できるのに、誰もやらない「成功の条件」

1. 思いついたことは全て手帳に書き、書いたことは全て実行する

良い気付きを得るのは、どんな時だろうか。車の運転中、寝ている時、風呂の中、ジョギング中、どれも書くのが困難な時ばかり。だが、人は一晩経つと8割も忘れる生き物だ。講演も同じ。だから、車を止めてでも、思いついた時に書くことだ。

丸氏にもこうある。「気づいた時、気がるに、喜んでさっと処理する。」「気づくと同時に行なう。」-これは成功の秘訣・光陰矢の如し。(p23)

丸氏は言う。「書けば誰でも成功できるのに、誰もやらない。書くこと自体は簡単、でも難しい。それでもやれば、必ず成功できるのです」。

2. 人と違うことをやる

確かに、丸氏も他社との差別化を図るために、サービス面でも様々な工夫を行ってきた。社員で出来る者がいなければ、自ら学んででも、何が何でも実行してきた。だが、丸氏が今も続けていることの一つに、「ほとんど休まない」がある。

「自分の夢を果たすのに、遊びたいですか?」。丸氏は続ける。「自分の夢が実現する方が、はるかに楽しいのです。でも、少々時間がかかる。ずっと続けなければならない。苦しい。だから成功者は少なくて、それでいいのです」。

全く遊べないわけではない。ストレス解消も必要だ。でも、基本を決めて、守ること。丸氏は、朝4時から6時までの2時間を勉強の時間と決めて、これを17年間継続している。だから、どんなに飲みたくとも、21:30には帰る。例外は月2回だ。

3. 継続する

丸氏は、『二十の誓い』日毎チェックリストを付けている。誓いは、3つでもいい。ただ、自分で決めた事・約束事は守る。「やってみれば、いかに難しいか分かるが、手に入れるまで続ければ、必ず実現できる。やってみれば、意外とできる」。

本気でそれをやりたいのか、単なる憧れか。本気になれる人は…

人は、本当に実現したければ、やる。だから、自分が欲しい物、やりたい事をまず見つけることが先だ。そして大いに稼ぎ、自分のことが満足にできるようになってから、世に人に貢献すればいい。「ぜひ皆さんも一緒にお金持ちになりましょう」。

次回 第881回MS! 6/17(火)6時~7時+朝食会 ホテルニューオータニ幕張(043-297-1777)

テーマ 「朝を制する人は幸福になる」 講師 (社)倫理研究所 参事 齊藤 隆己 氏

できるできるやればできる!

明るく楽しくなければ倫理じゃない!

・会員120社・MS30名以上・美浜を美しく